

8.1.7 人と自然との触れ合いの活動の場

1. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 調査結果の概要

① 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

a. 文献その他の資料調査

「第3章 3.1.6 2. 人と自然との触れ合いの活動の場の状況」に記載のとおりである。

② 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

工事関係車両の主要な走行ルート周囲とした。

(b) 調査期間等

入手可能な最新の資料を用いて実施した。

(c) 調査方法

主要な人と自然との触れ合いの活動の場を抽出し、当該情報の整理及び解析を行った。なお、ヒアリングにより文献その他の資料調査を補足した。

(d) 調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況は、表 8.1.7-1 のとおりである。

b. 現地調査

(a) 調査地域

工事関係車両の主要な走行ルート周囲とした。

(b) 調査地点

「② 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況 a. 文献その他の資料調査」の調査結果を踏まえ、図 8.1.7-1 の 6 地点（しおさい公園、山村広場、古佐井山（薬師山）、箭根森八幡宮、フォレストパーク、奥薬研溪谷）とした。

(c) 調査期間等

令和 6 年 8 月 6～8 日に実施した。また、景観の現地調査時等にも随時状況を確認した。

(d) 調査方法

現地踏査を行い、主要な人と自然との触れ合いの活動の場における利用状況や利用環境の状況、アクセス状況を把握し、結果の整理及び解析を行った。

(e) 調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況は、表 8.1.7-1 のとおりである。

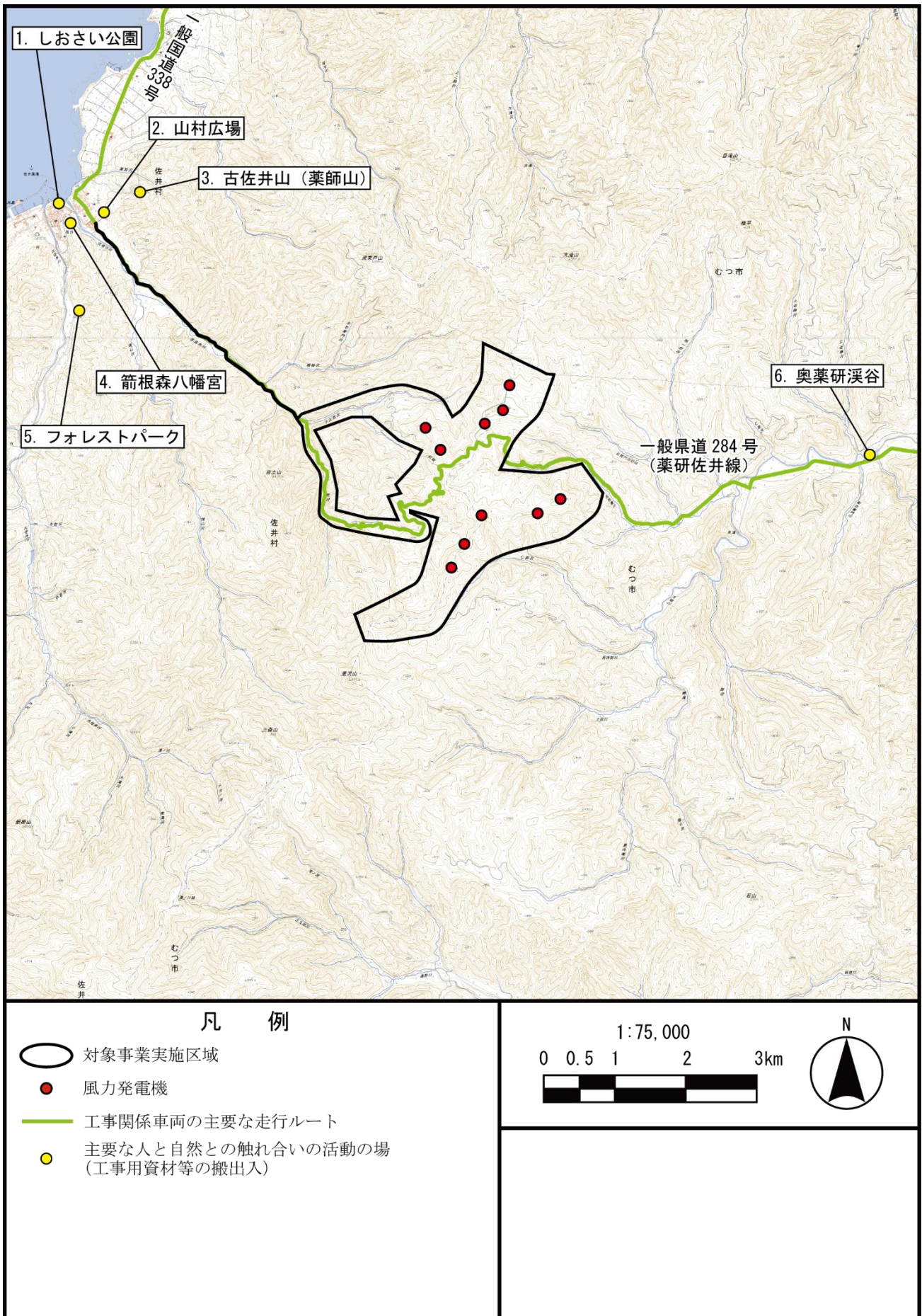


図 8.1.7-1 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査位置

表 8.1.7-1(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

1	調査項目	調査結果	
しおさい公園	地点位置及びアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の北西側、最寄りの風力発電機から水平距離で約 5.9km の離隔に位置している。 工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号から脇道に入ったところに位置している。 	
	利用環境の状況	文献その他の資料調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 佐井港周辺に位置する公園で、例年 8 月 15 日に開催される「佐井村夏まつり」の会場となっている。
		現地調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道 338 号から脇道に入ってアクセスする状況で、100m 程のところから 10 台程収容可能な駐車場が位置していた。アクセス路の道幅は 7m 程であったが、周辺に本園への道標、看板等の案内は確認できなかった。 園内には、遊具、石碑、バスケットコート、ベンチ、東屋、トイレ、水飲み場、円形のステージがある広場等が整備されていた。 周囲には建物や湾岸施設があるものの、視界は開けている状況であった。
	利用の状況	利用者特性 利用者数等	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報から特段情報は得られなかったが、関係機関へのヒアリングによると、例年計 1,000 人程の利用があり、その内訳は村内からの来訪が約 8 割、村外約 1 割、県外約 1 割、平日の来訪が約 3 割、休日が約 7 割、利用が多いのは夏で、多い日には 1 日当たり 50 人程が来訪するとのことであった。
		催事状況	<ul style="list-style-type: none"> 例年 8 月 15 日の 15～21 時に「佐井村夏まつり」が開催されており、盆踊りや花火大会等が行われている。関係機関へのヒアリングによると、500 人程が集い、その内訳は村内からの来訪が約 7 割、村外約 2 割、県外約 1 割とのことであった。
現地調査結果		<ul style="list-style-type: none"> 現地調査時、駐車場に県内ナンバーの車を 3 台確認したが、園内の利用者は確認できなかった。また、周辺道路の混雑は見られなかった。 	
現地の状況	 <p data-bbox="355 1473 868 1541">アクセス路（脇道） ※直進し右折すると駐車場あり ※道幅：約 7m</p>	 <p data-bbox="906 1473 1422 1541">駐車場 ※10 台程駐車可能</p>	
	 <p data-bbox="355 1921 868 1989">広場 ※ステージあり</p>	 <p data-bbox="906 1921 1422 1989">ステージから対象事業実施区域方向 ※周囲には建物等がある状況</p>	

表 8.1.7-1(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

2	調査項目	調査結果
山村広場	地点位置及びアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の北西側、最寄りの風力発電機から水平距離で約 5.3km の離隔に位置している。 工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般県道 284 号(葉研佐井線)から脇道に入ったところに位置している。
	利用環境の状況	<p>文献その他の資料調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐井村のサクラの名所の一つである。 広場の斜面全体にサクラの木が植えられているほか、遊歩道も整備されている。
	利用環境の状況	<p>現地調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般県道 284 号(葉研佐井線)には道標、青看板等の案内は確認できなかったが、脇道に入ってアクセスする状況で、100m 程のところに本園が位置しており、看板が設置されていた。アクセス路の道幅は 5.5m 程であったが、駐車場や駐車可能なスペースは確認できなかった。 本園は山の斜面につくられており、階段や遊歩道が整備されていた。園内全体にサクラが植えられ、広場、ベンチ、池等が整備されていた。現地調査時、トイレは閉鎖中の状況であった。 周囲は樹木に囲まれており、地形的にも対象事業実施区域方向は遮られている状況であった。※可視領域計算上でも本地点は不可視エリアに位置している。
	利用の状況	<p>利用者特性 利用者数等</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計情報から特段情報は得られなかったが、関係機関へのヒアリングによると、例年 200 人程の利用があり、その内訳は村内からの来訪が約 9 割、村外約 0.5 割、県外約 0.5 割、平日の来訪が約 4 割、休日が約 6 割、利用が多いのは春～夏で、多い日には 1 日当たり 20 人程が来訪するとのことであった。
	利用の状況	<p>催事状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 催事に関する情報は特段得られなかった。 <p>現地調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査時、本園の利用者や周辺に停車している車は確認できなかった。また、周辺道路の混雑は見られなかった。
現地の状況	 <p>一般県道 284 号 ※工事関係車両の走行区間 ※左折：本園へのアクセス路</p>	 <p>山村広場 入口 ※奥：看板、本園への階段 ※アクセス路の道幅：約 5.5m</p>
	 <p>遊歩道 ※周囲は樹木に囲まれている状況 ※奥：トイレ（現地調査時は閉鎖中）</p>	 <p>広場 ※サクラの苗木が植えられている ※右：親水池 ※本事業の対象事業実施区域は視認できない状況</p>

表 8.1.7-1(3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

3	調査項目	調査結果	
古佐井山 (薬師山)	地点位置及び アクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の北西側、最寄りの風力発電機から水平距離で約 5.1km の離隔に位置している。 工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号から脇道に入ったところに位置している。 	
	利用環境 の状況	文献その他 の資料調査 結果	<ul style="list-style-type: none"> 山頂付近に展望広場が整備されている山である。 山頂付近まで車で行くことができ、展望広場からは佐井港、津軽海峡等を望め、北海道までも見渡すことができる。
		現地調査 結果	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道 338 号から脇道に入って 900m 程上がると山頂付近まで車で到達できる状況で、第 1 駐車場は山頂付近に、第 2 及び第 3 駐車場は山頂まで徒歩 5~8 分程の位置に整備され、計 20 台程収容可能であった。一般国道 338 号には「薬師山」と記載された青看板が設置され、山頂への道幅は 5.5m 程であった。 駐車場には休憩所のほか、遊歩道の入口を確認した。休憩所は施錠され使用できない状況で、遊歩道の道中には道標が設置されていたものの、駐車場から案内等は確認できず、踏み跡は確認できなかった。 山頂へは階段や歩道も整備され、山頂には薬師堂、展望広場、休憩所、遊歩道が位置していた。 展望広場からは西方向が開けており、佐井港等が望める状況であったが、山頂含め、周囲は大半が樹木や山に囲まれている状況であった。
	利用の 状況	利用者特性 利用者数等	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報から特段情報は得られなかったが、関係機関へのヒアリングによると、例年 100 人程の利用があり、その内訳は村内からの来訪が約 7 割、村外約 2 割、県外約 1 割、平日の来訪が約 2 割、休日が約 8 割、利用が多いのは夏で、多い日には 1 日当たり 30 人程が来訪するとのことであった。
		催事状況	<ul style="list-style-type: none"> 催事に関する情報は特段得られなかった。
		現地調査 結果	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査時、本山の利用者や駐車している車は確認できなかった。また、周辺道路の混雑は見られなかった。
	現地の 状況	 <p>一般国道 338 号 ※工事関係車両の走行区間 ※本山へは左折 ※青看板あり</p>	 <p>第 3 駐車場 ※休憩所、遊歩道への入口あり ※調査員の車を駐車中</p>
		 <p>薬師堂 ※山頂に位置</p>	 <p>展望広場 ※山頂に位置 ※正面：休憩所 ※西方向</p>

表 8.1.7-1(4) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

4	調査項目	調査結果	
箭根森八幡宮	地点位置及びアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の北西側、最寄りの風力発電機から水平距離で約 5.7km の離隔に位置している。 工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号の延長に参道の入口が位置している。 	
	利用環境の状況	文献その他の資料調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 例年 9 月 14～16 日には 300 年以上前から続く「箭根森八幡宮例大祭」が開催され、昼夜 3 日間にわたって神楽、御輿、山車の行列が佐井村内を練り歩く。
		現地調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 本地点は市街地に位置しており、参道の入口は一般国道 338 号沿いに確認したが、当該区間は工事関係車両の主要な走行ルートには含まれていない状況であった。 参道入口前の道幅は 5.5km 程であったが、駐車場は整備されておらず、周辺に駐車可能なスペースも確認できなかった。 参道入口から 150m 程進むと本殿が位置していた。参道は傾斜が緩く歩きやすい状況で、階段も整備されていた。 周囲は樹木や建物に囲まれている状況であった。
	利用の状況	利用者特性 利用者数等	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報から特段情報は得られなかったが、関係機関へのヒアリングによると、例年 3,000 人程の利用があり、その内訳は村内からの来訪が約 8 割、村外約 1 割、県外約 1 割、利用が多いのは 9 月 14～16 日に行われる「箭根森八幡宮例大祭」の期間とのことであった。
		催事状況	<ul style="list-style-type: none"> 例年 9 月 14～16 日に「箭根森八幡宮例大祭」が開催されている。元禄 9 年に始まり、海上安全や魔除けの御利益があるとされる例大祭で、神楽、御輿、山車が行列を組み、昼夜 3 日間にわたって佐井村内を練り歩く。関係機関へのヒアリングによると、2,500 人程が集い、その内訳は村内からの来訪が約 8 割、村外約 1 割、県外約 1 割とのことであった。
	現地調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査時、本地点の利用者や周辺に停車している車は確認できなかった。また、周辺道路の混雑は見られなかった。 	
現地の状況	 <p>一般国道 338 号 ※参道入口前 ※道幅：約 5.5m</p>	 <p>参道入口 ※手前：一般国道 338 号 ※市街地に位置している</p>	
	 <p>参道 ※奥：本殿 ※周囲は樹木や建物に囲まれている状況</p>	 <p>参考：「箭根森八幡宮例大祭」の様子 ※「しもきたツーリズム」HP より</p>	

表 8.1.7-1(5) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

5	調査項目	調査結果		
フォレストパーク	地点位置及びアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の北西側、最寄りの風力発電機から水平距離で約 5.0km の離隔に位置している。 工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号の延長から脇道に入ったところに位置している。 		
	利用環境の状況	文献その他の資料調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 総ヒバ造りの森林体験館、炭焼ハウス、テニスコート、ゲートボール場を備える森林公園で、森林浴等を楽しめる。 森林体験館では、森林に関する展示の他、木工体験等が開催されている。 	
		現地調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道 338 号から脇道に入ってアクセスする状況で、1.5km 程のところに駐車場が位置しており、大型車を含め 30 台程収容可能であった。アクセス路の道幅は 6m 程であったが、周辺に本地点への道標や案内板等は確認できなかった。 アクセス路を挟んで東側に駐車場、森林体験館、作業所等が、西側にトイレ、東屋、水飲み場、ゲートボール場、テニスコート等が位置していた。森林体験館には体験、イベントやドッグラン等の案内が掲示されていた。 周囲は山に囲まれており、地形的にも対象事業実施区域方向は遮られている状況であった。※可視領域計算上でも本地点は不可視エリアに位置している。 	
	利用の状況	利用者特性利用者数等	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報から特段情報は得られなかったが、関係機関へのヒアリングによると、例年 500 人程の利用があり、その内訳は村内からの来訪が約 8 割、村外約 1 割、県外約 1 割、平日の来訪が約 5 割、休日が約 5 割、利用が多いのは 9 月で、多い日には 1 日当たり 20 人程が来訪するとのことであった。 	
		催事状況	<ul style="list-style-type: none"> 催事に関する情報は特段得られなかった。 	
現地調査結果		<ul style="list-style-type: none"> 現地調査時、本地点の利用者や駐車している車は確認できなかった。また、周辺道路の混雑は見られなかった。 		
現地の状況	 <p>アクセス路（脇道） ※右：駐車場 ※道幅：約 6m</p>		 <p>駐車場 ※30 台程駐車可能 ※調査員の車を停車中</p>	
	 <p>森林体験館 ※体験・イベント等告知の掲示あり</p>		 <p>手前：ゲートボール場 奥：テニスコート</p>	

表 8.1.7-1(6-1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

6	調査項目	調査結果
奥薬研溪谷	地点位置及びアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の東側、最寄りの風力発電機から溪谷内で最も近接する地点まで水平距離で約 4.3km の離隔に位置している。 工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般県道 284 号(薬研佐井線)及び主要地方道 4 号(むつ恐山公園大畑線)と並行して位置している。
	利用環境の状況	<p>文献その他の資料調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「下北半島国定公園」内に位置する溪谷で、キャンプ場、レストハウスのほか、東北自然歩道の「薬研温泉と溪流のみち」(約 9.3km)等が整備されており、溪流景観が楽しめる。 「薬研温泉と溪流のみち」の一部にはトロッコ線路が残っており、「あすなろの道」とも呼ばれている。 <p>※「薬研温泉と溪流のみち」は離隔があり、図 8.1.7-1 の図郭外に位置している。</p>
	現地調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査は「奥薬研溪谷」の西端から東端の「薬研橋駐車帯」の区間で実施した。 調査区間の西側エリアは、道幅 5m 程の道路が続く状況で、溪谷を眺めるような施設、設備や本地点に関する道標、案内等は確認できなかった(①②)。 調査区間の東側エリアは、「奥薬研橋(③)」、「奥薬研修景公園レストハウス(④)」、「大滝(⑤)」、「薬研公共駐車場(⑥)」、「薬研野営場(⑧)」、「おぐり(⑨)」、「あすなろの道(⑩)」等が整備されていた。各施設は一般県道 284 号及び主要地方道 4 号かつ「薬研温泉と溪流のみち」沿い、もしくは脇道に入ったところに位置しており、随所に道標や案内板等が設置されていた。 「薬研公共駐車場」からさらに東に 2km 程のところに「薬研橋駐車帯(⑪)」が位置しており、「薬研公共駐車場」前の道路に青看板が設置されていた。 「薬研温泉と溪流のみち」は、「薬研橋駐車帯」以東にも位置しているが、遊歩道の道標等は調査区間の東側エリアに集中していた。 調査区間は樹林に囲まれ、遠景は望めず、視界は開けていない状況であった。
利用の状況	利用者特性利用者数等	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関へのヒアリングによると、令和 6 年は「薬研溪谷の自然」には 56,124 人、「奥薬研修景公園レストハウス」には 16,437 人、「薬研野営場」には 2,172 人の利用があり、その内訳は市内からの来訪が約 2 割、市外約 4 割、県外約 4 割、平日の来訪が約 3 割、休日が約 7 割、利用が多いのは秋で、多い日には 1 日当たり 500 人程が来訪するが、周辺道路の混雑は見られないとのことであった。
	催事状況	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関へのヒアリングによると、例年 10 月の第 4 日曜日に薬研温泉郷内で開催されている「codama 共催 薬研紅葉まつり」には、900 人程が集い、その大半が市内からの来訪であるとのことであった。
	現地調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 各駐車帯や駐車場で数台の車を確認したものの、「薬研公共駐車場」周辺で歩行者を 1 名確認したほか、散策や観光等の利用者は確認できなかった。また、周辺道路の混雑は見られなかった。
現地の状況		

※表内の番号は、表 8.1.7-1(6-2)～表 8.1.7-1(6-3)に対応している。

表 8.1.7-1(6-2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

6	調査項目	調査結果	
奥薬研溪谷	現地の状況	 <p>①一般県道 284 号 ※工事関係車両の走行区間 ※調査区間の西側エリア ※道幅：約 5m ※溪谷は視認できない状況</p>	 <p>②一般県道 284 号 ※工事関係車両の走行区間 ※調査区間の西側エリア ※道幅：約 5m ※溪谷は視認できない状況</p>
		 <p>③奥薬研橋 ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」沿いに位置 ※調査区間の東側エリア</p>	 <p>④奥薬研修景公園レストハウス ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」沿いに位置 ※調査区間の東側エリア ※30 台程駐車可能</p>
		 <p>⑤大滝 ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」沿いに位置 ※調査区間の東側エリア</p>	 <p>⑥主要地方道 4 号 薬研公共駐車場入口 ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」 ※調査区間の東側エリア ※道幅：約 6m</p>

※表内写真の番号は、表 8.1.7-1(6-1)「現地の状況」に対応している。

表 8.1.7-1(6-3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

6	調査項目	調査結果	
奥薬研溪谷	現地の状況	 <p data-bbox="384 613 841 725"> ⑥薬研公共駐車場 ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」沿いに位置 ※調査区間の東側エリア ※80 台程駐車可能 </p>	 <p data-bbox="900 613 1433 725"> ⑦主要地方道 4 号「薬研野営場」「おぐり」入口 ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」 ※調査区間の東側エリア ※道幅：約 6m </p>
		 <p data-bbox="384 1115 735 1227"> ⑧薬研野営場 ※看板、案内板等あり ※車両進入可能な状況 ※調査区間の東側エリア </p>	 <p data-bbox="1034 1115 1305 1227"> ⑨おぐり ※物見台は進入禁止の状況 ※ベンチ、道標の設置あり ※調査区間の東側エリア </p>
		 <p data-bbox="384 1619 841 1731"> ⑩あすなろの道（ずい道） ※「薬研温泉と溪流のみち」と重複しており、 薬研野営場まで遊歩道が続いている ※調査区間の東側エリア </p>	 <p data-bbox="943 1619 1399 1731"> ⑪薬研橋駐車帯 ※工事関係車両の走行区間かつ 「薬研温泉と溪流のみち」沿いに位置 ※調査区間の東側エリア ※20 台程駐車可能 </p>

※表内写真の番号は、表 8.1.7-1(6-1)「現地の状況」に対応している。

(2) 予測及び評価の結果

① 工事の実施

a. 工事用資材等の搬出入

(a) 環境保全措置

工事用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・工事関係者の通勤においては、乗り合いの促進により、工事関係車両台数の低減を図る。
- ・工事工程の調整等により、工事関係車両のピーク時の台数の低減に努める。
- ・周辺道路の交通量を勘案し、可能な限りピーク時を避けるよう調整する。
- ・急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等のエコドライブの実施を徹底する。
また、人と自然との触れ合いの活動の場付近を通行する際及び利用者を見かけた際の減速を徹底する。
- ・関係機関等に随時確認を行い、イベント等により工事関係車両の主要な走行ルートにアクセスが集中する可能性がある場合には、該当日並びに該当区間において工事関係車両の走行を可能な限り控えることを含め、配慮する。
- ・定期的に会議等を行い、工事関係者に環境保全措置の内容について、周知徹底する。

(b) 予測

7. 予測地域

工事関係車両の主要な走行ルートの周囲とした。

イ. 予測地点

現地調査を実施した6地点（しおさい公園、山村広場、古佐井山（薬師山）、箭根森八幡宮、フォレストパーク、奥薬研溪谷）とした。

ウ. 予測対象時期等

工事計画に基づき、工事関係車両の交通量が最大となる時期とした。

エ. 予測手法

環境保全のために講じようとする措置を踏まえ、工事用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートにおける交通量の変化を予測し、利用特性への影響を予測した。

オ. 予測結果

予測結果は表 8.1.7-2 のとおりである。

表 8.1.7-2(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果
(工所用資材等の搬出入)

番号	予測地点	予測結果
1	しおさい公園	<p>本園は、工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号から脇道に入って 100m 程のところに位置している。</p> <p>本園周辺の一般国道 338 号は 626 台/12 時間程の交通量がある一方、本事業による工事関係車両の交通量は基礎コンクリートの打設日(ピーク時)で 147 台/11 時間であり、工事期間中の交通量は最大で現況の約 1.26 倍であると予測する。</p> <p>また、基礎コンクリートの打設日は 1 基当たり 2 日程度と短期間であること、「関係機関等に随時確認を行い、イベント等により工事関係車両の主要な走行ルートにアクセスが集中する可能性がある場合には、該当日並びに該当区間において工事関係車両の走行を可能な限り控えることを含め、配慮する」等の環境保全措置も講じていることから、工所用資材等の搬出入により本園の利用及びアクセスは阻害されないと予測する。</p>
2	山村広場	<p>本園は、工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般県道 284 号(薬研佐井線)から脇道に入って 100m 程のところに位置している。</p> <p>本園周辺の一般県道 284 号(薬研佐井線)は 96 台/12 時間程の交通量がある一方、本事業による工事関係車両の交通量は基礎コンクリートの打設日(ピーク時)で 147 台/11 時間であり、工事期間中の交通量は最大で現況の約 2.67 倍であると予測する。</p> <p>また、基礎コンクリートの打設日は 1 基当たり 2 日程度と短期間であること、「周辺道路の交通量を勘案し、可能な限りピーク時を避けるよう調整する」等の環境保全措置も講じていることから、工所用資材等の搬出入により本園の利用及びアクセスは阻害されないと予測する。</p>
3	古佐井山(薬師山)	<p>本山は、工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号から脇道に入って 900m 程のところに位置している。</p> <p>本山周辺の一般国道 338 号は 626 台/12 時間程の交通量がある一方、本事業による工事関係車両の交通量は基礎コンクリートの打設日(ピーク時)で 147 台/11 時間であり、工事期間中の交通量は最大で現況の約 1.26 倍であると予測する。</p> <p>また、基礎コンクリートの打設日は 1 基当たり 2 日程度と短期間であること、「周辺道路の交通量を勘案し、可能な限りピーク時を避けるよう調整する」等の環境保全措置も講じていることから、工所用資材等の搬出入により本山の利用及びアクセスは阻害されないと予測する。</p>
4	箭根森八幡宮	<p>本地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号の延長に参道の入口が位置している。</p> <p>地点周辺の一般国道 338 号は 626 台/12 時間程の交通量がある一方、本事業による工事関係車両の交通量は基礎コンクリートの打設日(ピーク時)で 147 台/11 時間であり、工事期間中の交通量は最大で現況の約 1.26 倍であると予測する。</p> <p>また、基礎コンクリートの打設日は 1 基当たり 2 日程度と短期間であること、「関係機関等に随時確認を行い、イベント等により工事関係車両の主要な走行ルートにアクセスが集中する可能性がある場合には、該当日並びに該当区間において工事関係車両の走行を可能な限り控えることを含め、配慮する」等の環境保全措置も講じていることから、工所用資材等の搬出入により本地点の利用及びアクセスは阻害されないと予測する。</p>
5	フォレストパーク	<p>本園は、工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般国道 338 号の延長から脇道に入って 1.5km 程のところに位置している。</p> <p>本園周辺の一般国道 338 号は 626 台/12 時間程の交通量がある一方、本事業による工事関係車両の交通量は基礎コンクリートの打設日(ピーク時)で 147 台/11 時間であり、工事期間中の交通量は最大で現況の約 1.26 倍であると予測する。</p> <p>また、基礎コンクリートの打設日は 1 基当たり 2 日程度と短期間であること、「周辺道路の交通量を勘案し、可能な限りピーク時を避けるよう調整する」等の環境保全措置も講じていることから、工所用資材等の搬出入により本園の利用及びアクセスは阻害されないと予測する。</p>

注：1. 表中番号は、図 8.1.7-1 に対応する。

2. 交通量については、「令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果」(国土交通省、令和 5 年)及び「8.1.1.1 騒音 表 8.1.1.1-2 交通量の調査結果」を参照した。

表 8.1.7-2(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果
(工所用資材等の搬出入)

番号	予測地点	予測結果
6	奥薬研溪谷	<p>本溪谷は、工事関係車両の主要な走行ルートとして利用予定の一般県道 284 号（薬研佐井線）及び主要地方道 4 号（むつ恐山公園大畑線）と並行して位置している。</p> <p>本溪谷周辺の一般県道 284 号（薬研佐井線）は 96 台/12 時間程の交通量が、主要地方道 4 号（むつ恐山公園大畑線）は 539 台/16 時間程の交通量がある一方、本事業による工事関係車両の交通量は基礎コンクリートの打設日（ピーク時）で 147 台/11 時間であり、工事期間中の交通量は最大で現況の約 2.67 倍及び約 1.40 倍であると予測する。</p> <p>また、基礎コンクリートの打設日は 1 基当たり 2 日程度と短期間であること、「急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等のエコドライブの実施を徹底する。また、人と自然との触れ合いの活動の場付近を通行する際及び利用者を見かけた際の減速を徹底する」等の環境保全措置も講じていることから、工所用資材等の搬出入により本山の利用及びアクセスは阻害されないと予測する。</p>

注：1. 表中番号は、図 8.1.7-1 に対応する。

2. 交通量については、「令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果」（国土交通省、令和 5 年）及び「8.1.1.1 騒音 表 8.1.1.1-2 交通量の調査結果」を参照した。

(c) 評価の結果

7. 環境影響の回避、低減に関する評価

工所用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するための環境保全措置は、以下のとおりである。

- ・工事関係者の通勤においては、乗り合いの促進により、工事関係車両台数の低減を図る。
- ・工事工程の調整等により、工事関係車両のピーク時の台数の低減に努める。
- ・周辺道路の交通量を勘案し、可能な限りピーク時を避けるよう調整する。
- ・急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等のエコドライブの実施を徹底する。
また、人と自然との触れ合いの活動の場付近を通行する際及び利用者を見かけた際の減速を徹底する。
- ・関係機関等に随時確認を行い、イベント等により工事関係車両の主要な走行ルートにアクセスが集中する可能性がある場合には、該当日並びに該当区間において工事関係車両の走行を可能な限り控えることを含め、配慮する。
- ・定期的に会議等を行い、工事関係者に環境保全措置の内容について、周知徹底する。

上記の環境保全措置を講じることにより、工所用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響は、実行可能な範囲内で低減が図られているものと評価する。